

随意契約理由書

件名	三宮歩行者用デッキ整備に伴う污水管移設工事(その2)	
契約の相手方	株式会社 大林組	
根拠法令	地方公営企業法施行令第21条の13第1項6号	
随意契約の理由		
<p>令和6年度予算にて、「三宮歩行者デッキ整備工事に伴う污水管移設工事」を施工していたが、管きよの布設予定位置上部に地下埋設物が輻輳しており、それら埋設物の移設(撤去)完了後に施工する予定であったものの、複数の地下埋設関連企業の移設工程に遅れが生じた。「新バスターミナルビル周辺デッキ工事(都心再整備本部都心再整備部都心三宮再整備課発注)」の発注者と協議した結果、下水道工事の完了を待つとデッキ工事の工程に大幅な遅れをきたすことから、デッキ工事の土木部の完了後に、デッキの下部に非開削工法で管きよを布設することとなった。</p> <p>デッキは三宮バスターミナル(Ⅰ期)の緊急避難通路の機能を持つため、構造物への影響の発生そのものが許されない状況である。また、デッキ工事と仮囲いなどの仮設構造物を共有する必要がある。</p> <p>上記の状況下で、新たな管きよはデッキの基礎杭と基礎杭の間に布設する必要があり、通常の近接施工の概念では影響予測が不可能である上、構造物間の離隔自体もほぼ無いため、防護措置等も行えない。デッキへの影響の発生を確実に防止した上で施工を行うことは、デッキ工事の施工者以外では不可能である。</p> <p>以上の理由から、デッキ工事の施工者である株式会社大林組に、本工事の随意契約を行う。</p>		
担当部署 (問合せ先)	建設局下水道部管路課	(電話番号 078-806-8784)